

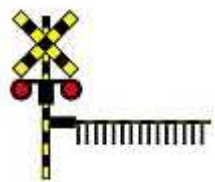


Windows10 レスキューキット **BASIC**

マニュアル

manual version 1.1.000000

1.インストール／アンインストール



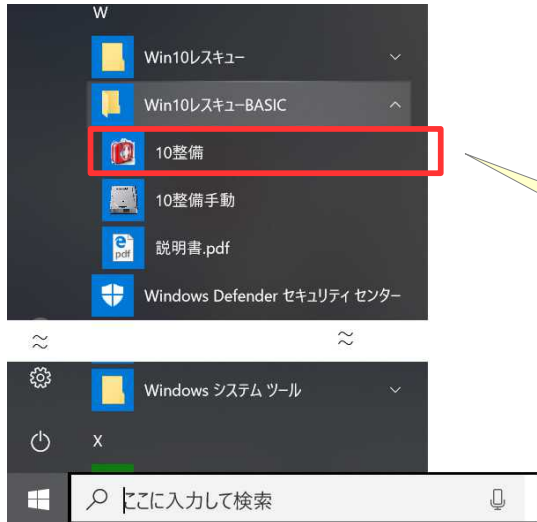
インストールにあたり、ウイルス対策ソフトの遮断を切ってください。
ウイルス対策ソフトの遮断により発生する各種問題のテクニカルサポート
はウイルス対策ソフトの販売会社に依頼してください。

本ソフト付属の INSTALL.EXE がインストーラです。
INSTALL.EXE を実行してください。インストールします。



※PC の設定により.exe は表示しません。

2.本ソフトの使い方



スタートメニューから Win10 レスキューキット->10 整備
を選んでください。

これをクリック

次の画面がメイン画面です。



2.1. 【Free】OS の自動更新カレンダーの使い方

本機能は無料機能です

OS自動更新カレンダー(更新の一週間前に警告画面を出します)

チェック

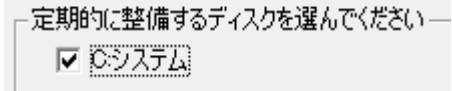
毎月の自動更新の
前の週に確認画面を
表示するようになります




2.2.【Pro】自動整備の設定

本機能は正規ユーザで使用できます

①システムディスクの定期整備の可否を選択ください。



Windows 本体を格納している C:ドライブの整備を指定してください。必ず ON を推奨します。



OSの検査&修復...
"sfc /scannow"を実行

C:の検査と修復
"chkdsk C: /f"を実施

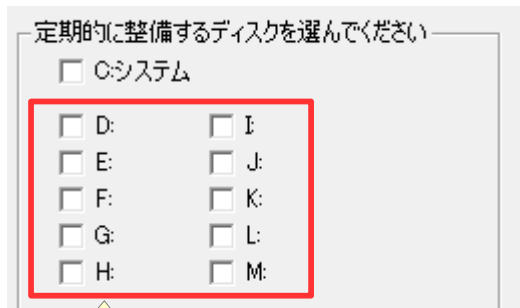
検査ツールの再構築...
"dism /Online..."実行

X:の検査と修復
"chkdsk X: /f"を実施

必ず ON でこの 4 つの処置を月に一度実行します。

- sfc /scannow ...OS の整備修復
- DISM.exe /Online /Cleanup-image /Restorehealth ...OS の整備修復
- chkdsk C: /f ...C:の NTFS の整備修復
- chkdsk X: /f ...X:はバックアップ先とします。
X:の NTFS の整備修復

②毎月検査するディスクを指定してください。



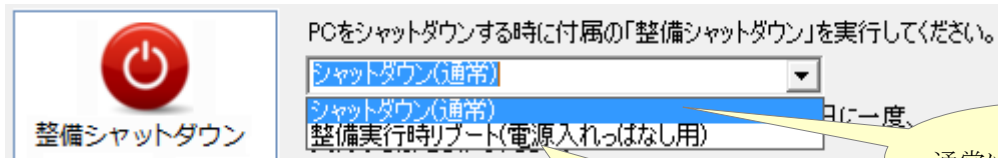
ここでは内蔵ディスクに必ず点を入れてください。



システムバックアップ 先は必ず指定のこと

定期的にチェックしたい ディスクを指定

③ PC の終了モードを指定します。



PC の電源を常時入れっ放し にしている人は下段を推奨



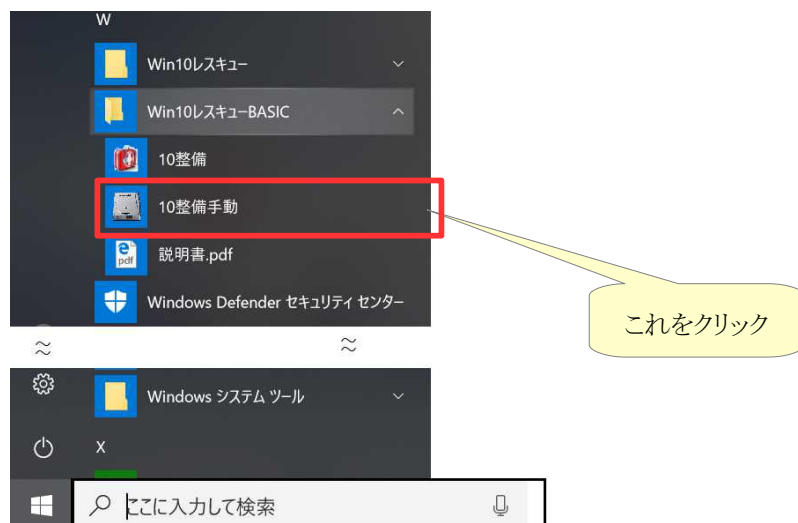
これを押して設定完了です。

- ③ PCの終了時にデスクトップにある「整備シャットダウン」を実行する。
「整備シャットダウン」は通常はPCのシャットダウンを行います。
以後、PCのシャットダウンはこのアイコンを実行して行ってください。



- 一ヶ月に一度、各ディスクの整備を実施してからシャットダウンします。
- 電源入れっ放しの人是一日の最後に本ソフトを実行する癖を付けてください。整備が発生した時は再起動をかけます。

3. 10 整備手動の使い方



このような画面が出来ます。

Windowsメンテナンス

本格的バックアップ
OS標準の設定画面を起動します

Windows標準のシステムバックアップを起動します。
・システムのフルバックアップ用です。
使い方はWindowsのヘルプを参照してください

Windows標準のフルバックアップ機能呼び出します。
※ 重い本格的なバックアップです。

復元ポイントによる方式
OS標準の復元画面を起動します

Windows標準のシステム復元を起動します。
・復元ポイントによるバックアップ/リカバリ用です。
小回り優先のバックアップ方式です。

Windows標準の復元ポイントのバックアップ呼び出します。
※ 軽量の差分バックアップです。

メンテナンス画面...

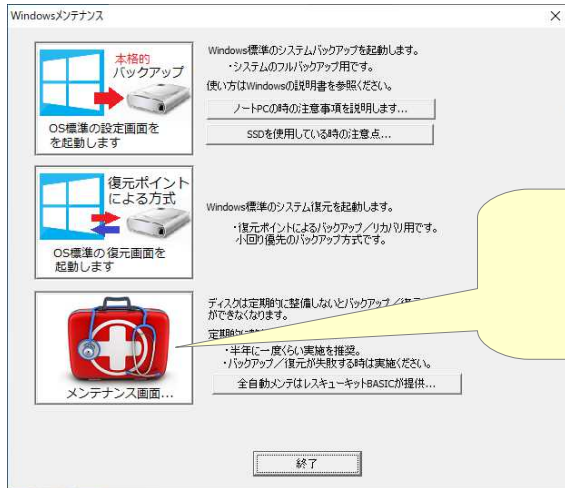
ディスクは定期的に整備しないとバックアップ/復元ができなくなります。
定期的に整備してください。
・半年に一度くらい実施を推奨。
・バックアップ/復元が失敗する時は実施ください。
全自動メンテはレスキューキットBASICが提供...

OSの整備とディスクの整備を提供します。

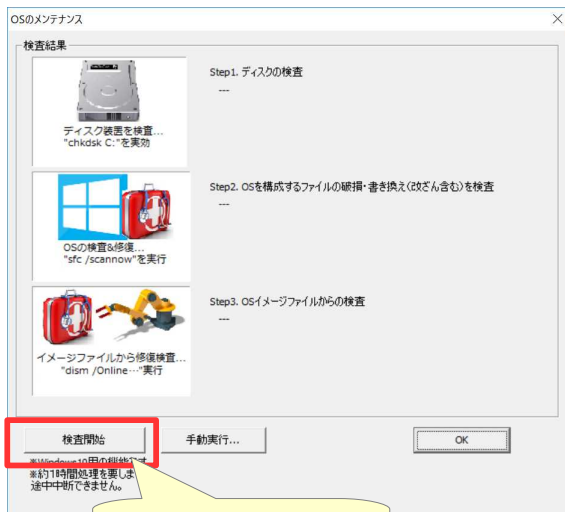
終了

3.1 具体的な使い方

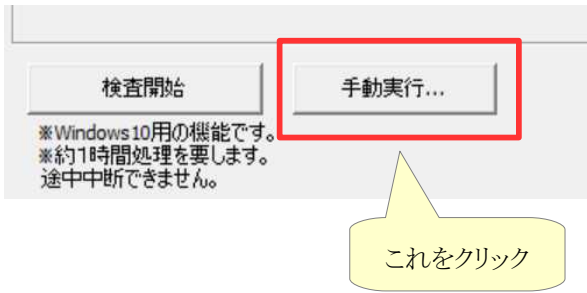
一連の流れを説明します。



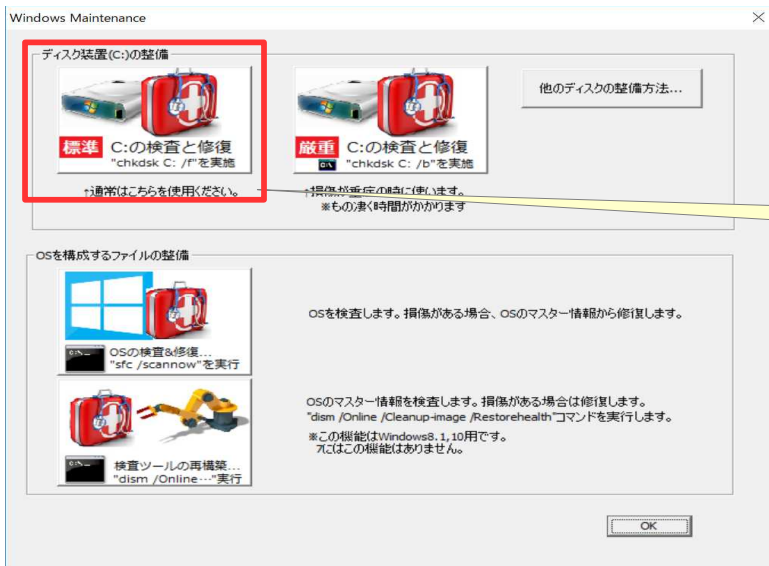
次の画面が出ます。



もし障害が出た場合は[手動実行...]よりを押してください。



① CHKDSK (ディスクの損傷検査) を実施。



C:ドライブに対してCHKDSKを実施します。
CHKDSKはディスクの損傷を検査し、損傷がある時は自動修復します。

これをクリック

これで次回PCの起動時にディスクの検査を行います。



PCを再起動してください。

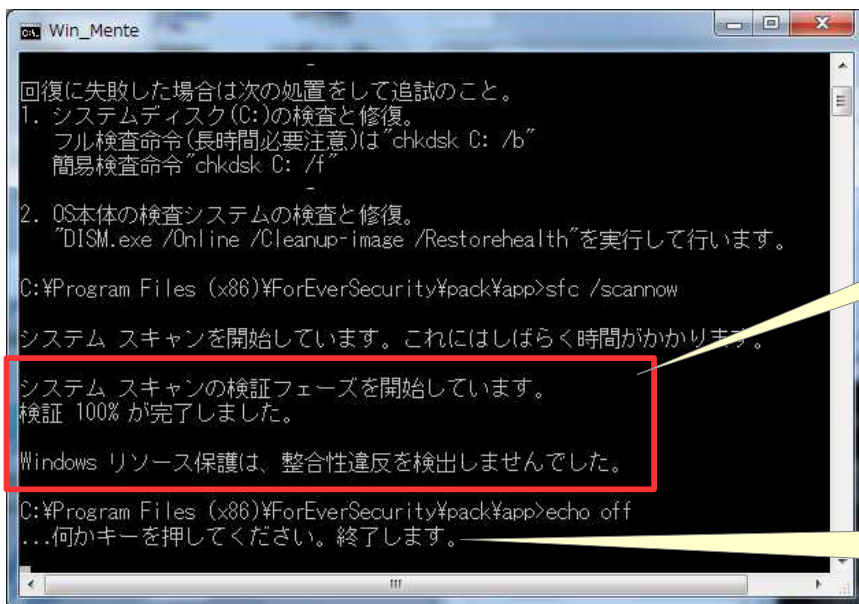
② OSの損傷検査修復を実施。



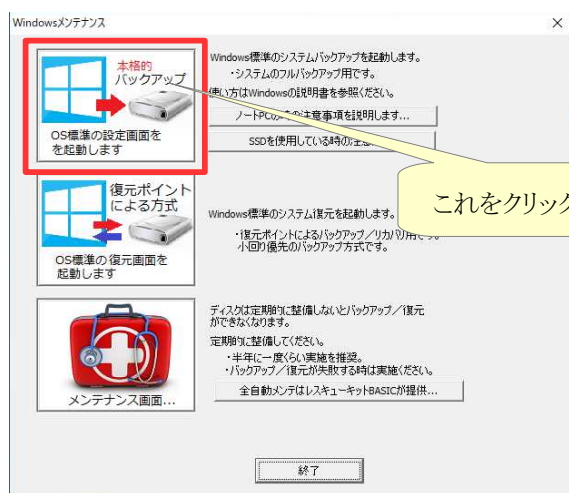
Windows 10は以降にはOSの構成の検査ソフトが2つ入っています。
"sfc /scannow"と"DISM.exe /Online /Cleanup-image /Restorehealth"です。これをコマンドラインから入力して使用します。
このボタンはそれを自動実行します。

この2つのボタンでそれぞれの整備を開始します。

次の画面が出て検査します。

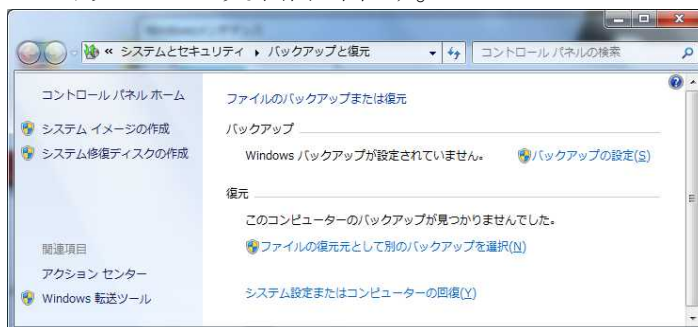


③ OS 標準のバックアップの確認。その1・本格的なシステムのフルバックアップをします



Windows には標準でシステムバックアップ機能があります。この機能を知らなかった場合は活用ください。システムバックアップには定期的な自動が標準でついています。活用ください。

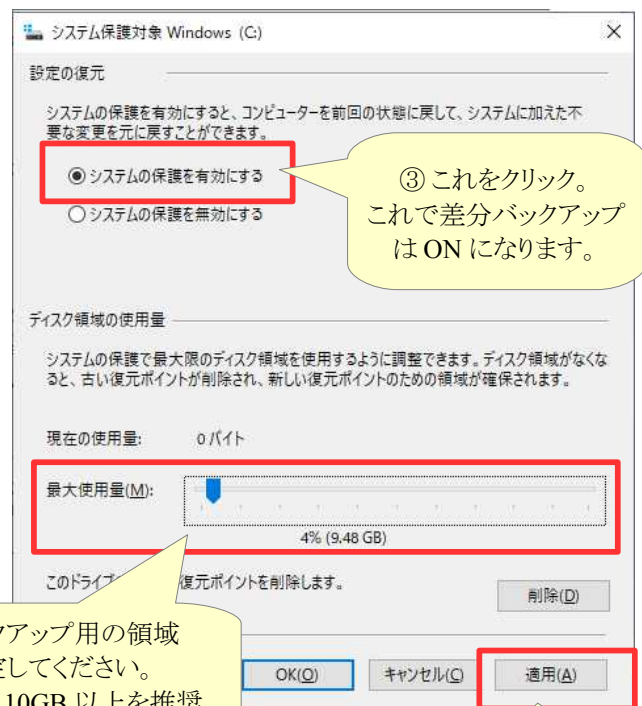
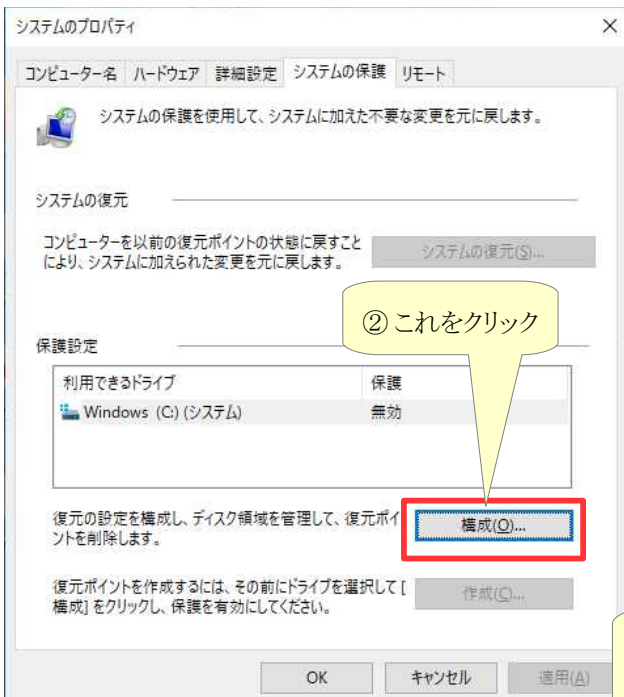
■ クリックでこのような画面が出ます。



④ OS 標準のバックアップの確認。その2・コンパクト軽量なシステムの復元ポイントによるバックアップ



Windows には標準で備わっている高速な復元ポイントによるバックアップを指定します。
これは差分によるバックアップです。
OS の自動更新をするごとに自動的に差分バックアップします。



FAQ.

Q1. アンインストールの仕方

--> OS 標準のアプリケーションの管理でアンインストールできます。

Q2. SSD を使用しています。シャットダウンと整備実行時リブートとどちらが良いでしょうか？

--> 特別な SSD メンテナンスツールを導入している時は任意です。

SSD は構造上、常時通電している方が好ましいです。

ですから場合は理論的には「整備実行時リブート」が良いです。

もしこれが理由で「整備実行時リブート」を選ぶ場合はスリープ時のディスクの節電設定を OFF にしてください。PC の電源を入れっ放しにしても節電が作動して SSD への電源供給が止まれば意味がないです。

Q3. 手動実行にて整備をしたがエラーが取れない。

--> 事前にデータを良くバックアップしてから、システムのリカバリ／回復してください。

多くの場合、障害が出る前のシステムバックアップデータからリカバリしてください。

以前の障害が起きる前の状態にしてください。

お問い合わせ

本ソフトの OEM、カスタマイズなどを希望する方は下記にご連絡ください。

有限会社電機本舗

<https://dnki.co.jp/w2/>

東京都港区高輪1-2-16-フラットウェル高輪6A